

自治労京都府本部 都市公共交通評議会

第2回研修会が開催された

二〇一五年七月三〇日(木) A N A クラウンプラザホテルで、都市交評第二回研修会が、京交から執行委員をはじめ組合員約七〇人が参加し開催された。進行を佐田悟副議長(京交書記長)がされ「自治労京都府本部都市交評の一端を担っているのは京交であり、今後も結束力を発揮させ、運動を展開したい」と述べられ、研究会の幕が開けた。主催者として瀬戸高志議長(京交執行委員長)から、自治労と統合して二年が経過し、この間に互に多くの労働運動について感謝の言葉を述べられた後、「四条通りで歩道拡幅工事が行われているが、一部の報道で市バスに責任があるようにされたが、事実無根である。歩道拡幅工事について様々な意見が出されているが、今後も我々は公共交通優先の街づくり、歩くまち京都に協力する必要があると考えている。また、二年連続トラベル+レジャーの世界で一番訪れたい都市に京都が選ばれたが、危惧するところもある。観光に來られている外国人だけではなく、公共交通は生き残れない。今後も市と一体となり、新しい政策について我々が先頭に立ち声を上げていかなければならない。」と挨拶がされた。続いて、京都市産業観光局、観光MICE推進室、高畑重勝室長が「これからの



挨拶をされた
瀬戸高志委員長

京都観光、世界が憧れる観光都市へ」をテーマに講演がされ、ソフト面を中心に「観光」の意義と役割、京都市の観光施策、観光施策の今後の展開について説明がされ「外国人は公共交通サービスに、スピード、正確、快適を求めている。また、現場の取り組みで質が決まる。京都の観光事業は、まだまだ、伸びしろがある。」とされ、観光に來られた方に喜ばれる公共交通の必要性を交え講演がされた。次に民主党京都府総支部連合会、第四区総支部、北神圭朗支部長が「安保法制を考える」をテーマに講演をされた。集团的自衛権について、憲法の解釈で進んできたこれまでの政府の自衛権の考え方をわかりやすく解説し、安倍政権の方針にある問題点を挙げ「集团的自衛権が必要だとしても、国民投票をとまなう憲法改正でやるべきではないか」とされた。続いて行われた懇親会では、多くの意見交換がされ、締め、中谷文明事務局長(京交副委員長)の発声で、参加者全員が、一致団結し、都市公共交通運動を発展させるとし、ガンパロウ三唱をして閉会した。



講演をされた民主党
京都府総支部連合会
北神圭朗支部長



講演をされた
京都市産業観光局
高畑重勝室長

京都交通労働組合

電話(075)841-0948
発行者 瀬戸高志
編集者 梅田涼

一面

- 自治労京都府本部 都市公共交通評議会 第2回研修会開催
- 自治労京都府本部 2015年度リーダーズセミナー
- 自治労都市公共交通評議会 地下鉄・路面電車合同部会開催
- 接客態度優秀者表彰

二面

- 教宣部員のつばやき
- Fromみぶ
- 都夢ちゃんのひとり言
- クロスワードパズル
- クロスワードパズル当選者



自治労京都府本部 二〇一五年度 リーダーズセミナー

二〇一五年七月二十四日(金) 職員会館かみがわでリーダーズセミナーが開催されました。十人四組から四十三人(京交からは四人)が参加し、「労働運動を中心に担う人材の育成をすめよう」をテーマに講演がされました。主催者挨拶として高橋直樹委員長が、二年前に開催されたセミナーについて説明され、単組の力量を上げるこ



挨拶をされた
自治労京都府本部
高橋直樹委員長

とされました。職場のハラスメントについて定義を正しく理解し、労働組合役員として対応・解決する方法を学修し、男女がともに働きやすい職場環境をつくることを目指して欲しいと講演がされました。次に全体会として「これからの自治労および単組役員に求めるもの」をテーマに自治労組織内議員のえさきたかし参議院議員が講演され、「安倍政権は働く者について政治をしていない。公務員の削減で景気回復に歯止めをかけている。労働者保護法案は、経営者側が有利となり、働く者の権利が成されていない。今後、非正規労働者が更に増え悪い波が止まらない。雇用不安に対して労働組合の立ち位置をつくり、一〇年後二〇年後にどんな社会をつくるかが重要である。」とされ、ともに頑張りましょうと締め括られました。続いて、懇親会が開催され、他の単組と意見交換を行い、交流をはかり閉会しました。



講演をされた
自治労組織内議員
えさきたかし参議院議員

接客態度優秀者2級 西賀茂営業所 藤田 羊一 運転士

2015年7月22日(水)天神川大会議室で接客態度優秀者2級表彰が行われました。加藤讓自動車部長から西賀茂営業所藤田羊一運転士に賞状が授与されました。おめでとうございます。



接客態度優秀者制度とは

- 3級 感謝表明や適切な対応など接客態度が優秀であった場合。
- 2級 感謝表明や親切な対応など接客態度が優秀であり、3級表彰よりさらに上位の表彰がふさわしいと認められる場合対象職員が3級表彰を過去に複数回受賞している場合。
- 1級 感謝表明や親切な対応など接客態度が優秀であり、2級表彰よりさらに上位の表彰がふさわしいと認められる場合対象職員が2級表彰を過去に複数回受賞している場合。

堂下 直也 電車副部長

自治労都市公共交通評議会 地下鉄・路面電車 合同部会が開催された

二〇一五年七月二十二日(水) 東京都田町交通ビル東交会議室で、自治労都市公共交通評議会地下鉄・路面電車合同部会が開催された。報告事項としては、①交運労働協二〇一六年度予算概算要求(鉄道局関係)について②自治労石川定期大会運動方針ならびに当面の闘争方針討議状況について③今後の部会運営の基本的な考え方(案)について説明が行われた。特に今後の部会運営については、①政策制度部会②組織部会③バス部会④鉄軌道部会の四つに再編され、各都道府県本部から各部会に一名配置という当初案から、当面関係単組各一名配置に譲歩された。出席した辻井電車部長から、現在の各単組二名の枠組みより少なくなり、交流・意見交換が制限される点、都市交時代に築きあげられた運動を衰退させることが無いよう強く申し入れがあった。その点について、本部側が広く情報を吸い上げ、各単組にきめ細かく情報を配信し、都市交評運動を再構築して前進させていくと回答があった。今後も都市交評運動が自治労と統合により吸収され、衰退することがないよう積極的に会議に参加し、意見を述べていきたい。

教宣部員のつぶやき



今回は、ランニングについてつぶやきます。残暑が厳しく、何かと行動を起こすのに気合いが必要です。特にランニングは大変です。昨今、ランニングはブーム呼び、沢山の方が行われています。しかし、統計の結果、実は、一年以上ランニングを続けている方は、全体の三割程度しかおられないそうです。では、ここで少し、ランニングをやめた時の損失を考えてみたいと思います。まず、当たり前ですが、太りやすくなります。単純に平日二回(一回五キロ)、土日に一回(一〇キロ)を走っていたとして、体重六〇kgの方が消費するエネルギーは、体重×距離で求められます。大体一週間で六〇kg×二〇キロ＝一二〇〇キロカロリーになります。この数字だけを見れば、少ないように思いますが、一年で考えると三六五日は、五十二週で(一二〇〇キロカロリー×五十二週)で六万二四〇〇キロカロリーが消費しなくなります。脂肪は一g九キロカロリーぐらいなので単純に一年間で六・九kgも太る計算になります。実際には、そこまで太ることはないと思いますが、一番大きな損失だと思えます。他に、太る原因として、下半身の筋力が落ちると基礎代謝量が著しく低下します。これは下半身の筋肉は大きく、消費能力が高いためです。特にふくらはぎは、第二の心臓と呼ばれるくらいです。また、ランニングやウォーキングで鍛えられる筋肉は、加齢による衰えが少なく将来に渡って役に立ちます。損失についてつぶやきましたが、逆にランニングを実施すれば、これだけ体重を減少させることが出来ます。ランニングを続けていく上で、もう一つ

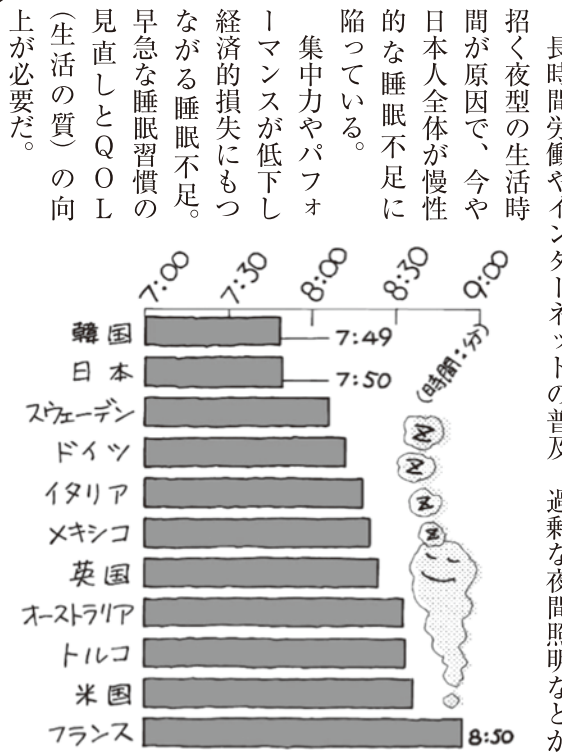
大切なことは精神論「継続は力なり」です。すべてのスポーツに通ずる所であり、これが心の支えになります。これからランニングを始められる方や、現在続けておられる方は、ジョギングからランニング。そしてマラソン大会に出てみようと考えられると思います。私もその一人でしたが、最初のレースが今後の大きな分かれ目になると思います。フルマラソンか、ハーフマラソンか、悩む所だとは思いますが、どちらにせよ、楽しく走ることが大切です。決して無理をせず、常に笑顔で走れる速さで挑戦して欲しいと思います。どんなレースでもゴールした時の達成感は何となく気持ちが良いものです。そして、ゴールをした時は、不思議なくらいみんな笑顔になります。確かに走っている間は、辛く「止まったら楽だろうな」と考えたりもしますが、自分が今まで走ってきた努力を思いかえせば止まらず走り切ることが出来ます。このようなことを最初のレースで味わえるかどうか、今後のランニング生活を左右する一つの分かれ目になるのではないのでしょうか。これからマラソンに挑戦される方は、「一発屋」にならないように、自分が努力してきたことを信じて楽しくランニングを続けて行けばゴールした時は必ず笑顔になっているはずですよ。最後に、まだまだ、残暑が続きます。運動頻度や距離が減るのとは違うことです。無理は禁物ですが、「暑いから走るのをやめよう」ではなく「少しでも涼しい時間帯に走ろう」というポジティブな考えで長くランニングを続けて下さい。

教宣部員 辻川 啓司

Lorromびび

日本は「眠らない国」!? 睡眠不足で集中力も低下

日本は「眠らない国」。世界各国の平均睡眠時間を見ると、一番よく眠るフランスが八時間五〇分に対し、日本は七時間五〇分と一時間も短い。長時間労働やインターネットの普及、過剰な夜間照明などが招く夜型の生活習慣が原因で、今や日本人全体が慢性的な睡眠不足に陥っている。



都導ちゃんのひとり言



表現の自由

「表現の自由」について考えさせられる事件が起きた。予言者ムハンマドを侮辱したとしてイスラム過激派が風刺画を売りにした仏週刊誌などを襲撃したテロ事件だ。フランスはもとより世界中が震撼した。「表現の自由」に対しての暴力に抗議の声を上げた。どんな理由があっても「表現の自由」が阻害され、圧殺されることは許されない。ましてや襲撃など論外だ。テロに対して怒りの声が大きくなるのは当然のことだった。

だが、その前に「表現」について私たちは考えなければならぬ。例えば日本で繰り返されていくヘイトスピーチ。この行動の実行団体である在特会は、「表現の自由」を盾に自分たちの行為を正当だと主張している。だが実態は、在日コリアンへの人権侵害であり、偏見に満ちた脅迫行為としかいいようがない。「表現の自由」があるからといって、すべてが許されるわけではないのだ。人はさまざまな文化を背景に育ち、生きるすべもより所も違っている。だからこそ表現も内容によっては、人を傷つけ、誤解を生み、時には憎しみにまで発展すると肝に銘じたい。反テロ転じ欧州で広がる反イスラムの声。このお門違いの展開に憎しみの連鎖を懸念する。

脳を鍛える クロスワードパズル

「クロスワードパズル」のコーナーです。ちよつと一息！頭の体操してみませんか？ AからGまでの七文字をならびかえて一つの言葉にしてください。正解者の中から抽選で三人の方に「全国百貨店共通商品券」千円分をプレゼントします。どしどし応募してください。このクロスワードが解けた方は、支部名、コード番号、名前、機関紙に対するご意見ご要望等を記入の上、京交本部教宣部機関紙編集チームまでお送りください。締め切りは九月十八日(金)必着です。なお当選者の発表は次号以降の機関紙「京交」で！

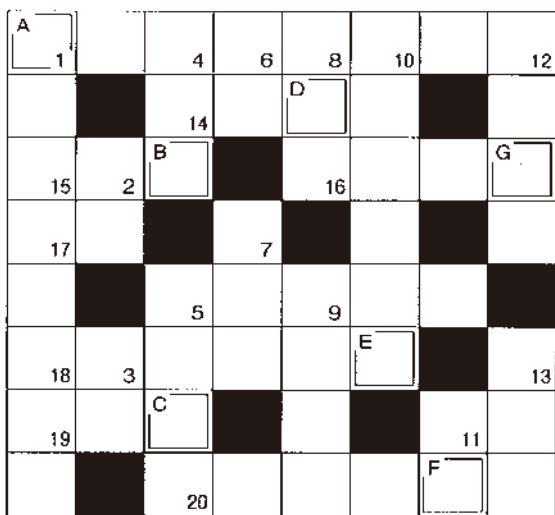
- (タテのカギ)
- トランプで最強の札
 - 〇〇とギリギリス
 - こよみ
 - 灰色
 - 紙などを壁に止めるため
 - 刺す鉾
 - 何も持っていない手
 - 漢民族の間で発生・発達
 - した表意文字
 - ためいき
 - 何にでもマヨネーズをつけて食する人
 - 幹線以外の地方支線
 - アーム
 - ↑↓生体の成長・維持に不可欠の元素
 - 色

クロスワードパズル 京交696号解答

①	ツ	グ	ウ	オ	イ	マ	イ
モ	ミ	サ	ヒ	レ			
ン	シ	ギ	ト	①	ク		
ス	ル	メ	ハ	イ	シ	ン	
カ	イ	ギ	ヨ	ウ	ア		
ツ	ジ	ウ	ス	キ	カ		
シ	ウ	イ	ア	イ	ス		
ユ	ウ	エ	ン	チ	ス	ミ	

■答えは「ハビエルアギール」

- 当選者氏名(敬称略)
- 谷 祐典さん(東西線乗務支部)
 - 板倉 基一さん(電整支部)
 - 岡本 吉弘さん(電整支部)



■ AからGまでの文字をならびかえると...

- (タテのカギ)
- 1ミリの千万分の一
 - ↑↓表
 - ↑↓a線・β線
 - 女性
 - 擬餌針
 - 団体が定期的に発行する新聞
 - 遊びに使う弾力のある球
 - 実景を電波で送って映写する装置
 - よりどころ
 - 平日